

ご挨拶

令和7年度独立行政法人日本芸術文化振興会委託事業（令和7年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業）として、ここに「演奏年鑑2026」をWEB版として公開する運びとなりました。

本年鑑の公開にあたり、ご支援を賜りました文化庁ならびに独立行政法人日本芸術文化振興会をはじめ、調査・問い合わせにご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

長年にわたり皆様にご活用いただいていた「演奏年鑑」は、2026年版より電子ブックへ移行いたしました。従来の印刷書籍による刊行は「演奏年鑑2025」（2025年3月発行）をもって終了し、本号からはWEB上での公開という新たな形で、より広く情報をお届けしてまいります。

「演奏年鑑」は、1975年に「音楽資料」として創刊以来、今号で通巻第52号を迎えました。半世紀にわたり継続してまいりました本年鑑が今日を迎えられましたのも、ひとえに皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり、心より御礼申し上げます。

本号「演奏年鑑2026」では、2025年1月から12月までの国内におけるクラシック音楽の演奏会データを、全国のホール関係者のご尽力により収集・調査し、統計資料として掲載しております。また、全国のホール、演奏団体のご協力のもと、SNSの活用状況、バリアフリーサービスの実施状況について新たに調査いたしました。これらのデータが、音楽業界のみならず、広く社会にとって有益な基礎資料として活用されることを願っております。

私どもは「演奏年鑑」を我が国の音楽文化の動向を記録する重要な資料として継承していくため、内容の充実と精度の向上に努めてまいります。関係各位におかれましては、今後とも本年鑑の編集・公開に対し、変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2026年 3月



公益社団法人 日本演奏連盟
理事長 澤 和 樹